

**10分以内でああなたの熱い思いを
映像で表現してください!**



最終審査員

かわなかのぶひろ



1941年生。1960年代より日本の個人映画・実験映画運動を牽引する存在として、100本あまりの作品を制作。東京造形大・イメージフォーラム映像研究所等で後進の指導にも力を注ぐ。よなご映像フェスティバルでは第1回から審査員として参加。主な作品に『SWITCH BACK』『絵日記』『私小説』『映像書簡』シリーズなど多数。最新作は「これまでの経緯」『あれから、また、五年』（2018年）

木村文洋 (きむら ぶんよう)



1979年、青森県弘前市出身。大学在学中に京都国際学生映画祭運営に参加。映画批評・上映に携わる。青森県を舞台に六ヶ所村核燃料再処理工場に言及した『へばの』（2008年）を初長編監督。以降、『愛のゆくえ（仮）』（2012年）3年間の制作期間を経て『息衝く』（2017年）上映中。

募集要項

- 時間制限は10分以内です。
- ドラマ、SF、ホラー、アニメーション、ドキュメンタリー、ビデオアートなどテーマは問いません。
- 応募作品は、DVDまたはBlu-ray Disc をお願いします
- 応募作品は返却しませんので、コピーでご応募ください。
- ほかの著作物（音楽、映像等）を使用する際は、応募者個人の責任をお願いします。
- 応募作品は、当イベント名義で他の映画祭など上映・テレビ放映する場合があります。
- 上映後は、ライブラリーとして保存します。

審査方法

- 応募作品多数の場合 1次審査として事前選考を行います。
- 上映される入選作品は2018年11月下旬にHPにて発表します。
- イベント当日、入選上映作品の中から、最終審査員が選各賞（グランプリ 優秀賞など）がぎまります。

よなご映像フェスティバルとは
鳥取県米子市で活動する映画映像上映団体が企画・運営する映像の祭典。毎年1回開催される。映像作家の、1.発表の場、2.交流の場、3.情報発信の場としてはじまり、地域における映像文化の振興と発展に貢献することを目的としている。

応募締切 11/15 2018 必着!!

上映イベント 12月 15日 16日 開催!! 場所 **ガイナックスシアター (イオン米子駅前店3階)**

よなご映像フェスティバルHP <http://yonagoeizofestival.org/>

応募先 下記応募用紙に必要事項を記入の上、作品とともにご提出下さい。※郵送費は実費でお願い致します。

〒683-8691 米子支店郵便私書箱 第66号 **よなご映像フェスティバル実行委員会宛**

スタッフ募集のお知らせ

一緒にイベントを手伝って下さる方を募集しております。映画好きの人、音楽・演劇・ダンス等好きな人、イベント好きな人、仲間をもっと増やしたい人など誰でもOKです。興味のある人は、お問い合わせ先までご連絡下さい!



● お問合せ先 よなご映像フェスティバル実行委員会 水野耕一 080-5232-2993

第11回よなご映像フェスティバル 応募用紙

No.

フリガナ 氏名	男 女	住所 〒			
電話番号	歳	e-mail			
作家・監督としての氏名 (本名と異なる名前で活動している場合に記載ください)	作品タイトル	制作年	時間	画面サイズ	
作品説明					